

競技注意事項

1 競技規則について

競技は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定により実施する。
パラアスリート種目のうち車いす種目については世界パラ陸上競技連盟(WPA)規則が適用される。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラックを使用すること。ただし、投てき練習は禁止する。
* 芝生内は立ち入り禁止とする。
フィールド競技の練習は、招集完了後に本競技場内で競技役員の指示により行う。
- (2) サブトラックにおける「レーン」の使用区分は、下記の通りとする。
 - ア) 周回1～2レーン：中・長距離、競歩、* 車いす（10日のみ 練習時間帯を別途設定する）
 - イ) 周回3～4レーン：短距離
 - ウ) 周回5～6レーン：300mH、400mH
 - エ) 直線6～7レーン：100mH、110mH（100mYH、110mJH）* 8レーンはスタート地点へ戻る際の通路
 - オ) 砂場助走路：短距離、100mYH、110mJH（100mH、110mH）

3 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順
 - ア) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、シューズの点検を受け、トラック種目は、腰ナンバーを受け取る。なお、長距離種目は別ビブスも受け取る
 - イ) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス、腰ナンバー、シューズの点検）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。
 - エ) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
※多種目同時出場届、欠場届は、プログラム巻末、競技者係（招集所）備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。
- (4) 混成競技
 - ア) 1日目と2日目の第1種目および2日目の最終種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以外の種目では、雨天練習場の混成競技控室（雨天練習場東側）で点呼を受け、役員の誘導により競技場所に移動する。（トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は競技開始の30分前までに集合すること。）
 - イ) 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多種目同時出場届けを提出しておけば、直接現地への移動を認める。また、このとき競技者はフィールド種目においては、いずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合はトラック種目が優先となる。

4 競技について

- (1) レーン、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定において、最終枠に同記録がある時は、0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
- (3) トラック競技の予選において救済措置が生じた場合は救済競技者を次のラウンドへ進出させることとする。なお、救済競技者が複数の場合はタイムによる進出者を減じる。
- (4) 下記の種目はタイムレース決勝で行う。

(男子)	1500m	3000mSC	少年A300m	少年共110mJH
(女子)	1500m	少年A300m	少年A300mH	少年B100mYH
- (5) 男女5000m、男子5000mWはグループスタートで実施する。

- (6) 男女 5000m、10000m、5000mW、男子少年B3000m、混成競技の最終種目は別ビブスを使用する。レース終了後にナンバー係に返却すること。
- (7) 長距離種目および競歩種目については、気象状況を考慮して給水を実施する。
- (8) 下記の種目は競技運営の都合により、下記の時間を超えて次の周回に入らず競技を打ち切る。
(男子) 10000m : 33分 5000mW : 25分 (女子) 10000m : 42分 5000mW : 30分
- (9) リレーオーダー用紙の提出について
- ・提出場所：競技者係（招集所）
 - ・予選：第1組の招集完了時刻の2時間前～1時間前まで
 - ・決勝：変更の有無にかかわらず、招集完了時刻の1時間前～30分前まで
- * リレーオーダー用紙はプログラム巻末または競技者係（招集所）備え付けの所定の用紙を使用すること。
- (10) 競技場内での練習は、必ず競技役員の指示に従って行うこと。
- (11) フィールド競技については、計測ラインを設ける。
- (12) 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。
- (13) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまで次のとおりとする。
ただし、気象状況により変更する場合がある。

走高跳	男子	練習 1m85	1m90-95-98-2m01-04-07	以後、優勝が決まるまで 3cmずつ上げる。
	女子	練習 1m50	1m55-60-63-66-69-72	
棒高跳	男子	練習 3m60~4m80	3m80-4m00-20-30-40	以後、優勝が決まるまで 10cmずつ上げる。
	女子	練習 3m00~3m80	3m20-30-40-50-60	

* 第1位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmの幅でバーを上げ下げする。

(14) 混成競技のバーの上げ方

走高跳	男子	1m75 までは 5cm ずつ 以後は 3cm ずつ上げる
	女子	1m55 までは 5cm ずつ 以後は 3cm ずつ上げる
棒高跳	男子	3m20 までは 20cm ずつ 以後は 10cm ずつ上げる

(15) パラ種目について

- ア) 本大会では、パラアスリート種目を実施する。
- イ) フィールド種目については、競技運営の都合により選手権種目と同時に競技を行うが、スタートリストおよびリザルトはパラ種目単独の扱いとし、6回の試技が許される。
- ウ) オリンピック・パラリンピック準備対応により、本大会ではJADAによるドーピング検査は実施しないが、本大会における記録はIPCの決定によりWPAランキングの対象となる。ただし、アジア記録以上が樹立された場合は認定の対象外となる。

5 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、やり、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のを競技場内へ持ち込むことはできない。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。ただし、出場競技者全員で共有できるものとする。
検査時刻 第1日(10日) 女子-9:00~9:10 男子-10:45~10:55
* 混成競技のやりの検査は競技開始時刻の60分前までとする。
検査場所 フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。
- (4) 走高跳のマーカーは、競技役員から受け取ったテープのみを使用すること。
- (5) 4×100mのマーカーは、主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

6 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、正式結果発表後30分以内(次のラウンドが行われる場合は15分以内)に、本人または監督から審判長にたいして口頭で申し出ること。
なお、受付は大会本部の総務員が行う。

- (2) 審判長の裁定に不服の場合は、預託金 10,000 円を添えて文書で上告すること。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

7 表彰について

- (1) 各種目 1 位～3 位の入賞者は中央ロビーの表彰係へ賞状を受け取りに来ること。(表彰式は行わない)
- (2) 選手権種目は、優勝者に賞状と選手権章、2 位～3 位の入賞者には賞状を授与する。
国体選考会種目は、1 位～3 位に賞状を授与する。

8 その他

- (1) ADカードをつけていない者は、競技場およびサブトラックに立ち入ることができない。
- (2) 競技結果および次のラウンドへの出場資格、番組編成は場内アナウンスによって発表する。また、兵庫陸協の WEB にも掲載する。(掲示板への掲示は行わない)
なお、場内スクリーンに競技結果が確定表示された時点を、正式発表とする。
- (3) 貴重品の管理は、各自で責任をもって行うこと。拾得物については、競技者係で保管する。
- (4) スタンド最前列に横断幕等を設置してはならない。また、のぼりは全ての場所で設置を禁止する。
- (5) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は大会本部の医務員に連絡すること。
競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (6) 記録証明書を希望する者は、庶務係に 500 円を添えて申し込むこと。
- (7) 本大会各種目の決勝において兵庫陸協登録者で上位 6 位までの者が近畿陸上競技選手権大会の出場資格を有する。出場資格を得た者は大会要項を了承のうえ、大会 2 日目 17:00 までに庶務係にて参加料を添えて申し込み手続きを完了すること。